

大学生でモビリティ・マネジメント!?

H.O.T Managers

の 活 動 紹 介



みんなの移動手段を考える学生サークル

H.O.T Managers

(ほっと まね-じゃ-ず)

GİRİŞ KAPISI
25 Nisan 2010

22.03.09 31

GİRİŞ GÜN ZİYARETÇİ
HİÇBİR YERDE ÇALIŞMAZ

プロフェール

H・O・T Managers 何?

Date

No.

青森県弘前市に位置する弘前大学の学生を中心とした学生団体で、2010年に設立しました。

どんな活動をしているの?

弘前で生活している人、弘前に遊びに来た人、・・・
誰もが利用しやすい便利で魅力的な移動手段として、バスや鉄道などの公共交通を使いやすくし、弘前のまちが少しでも便利になるために、「みんなの力で弘前の公共交通を育てよう!」というコンセプトのもと、人々に公共交通の存在をより意識してもらおうとともに、利用の機会創りも行って積極的な利用へとつながるような活動を行っています。

どうして公共交通を“育てる”の?

私たち大学生の中では、クルマを持っている人はあまり多くないです。そのため、日常生活の中での公共交通の利用可能性は高いのですが、いざ使おうと思っても不明な点多すぎて利用できません。私たちの移動手段は徒歩・自転車に限らなければ!!公共交通を私たちが応援することで、利用しやすい公共交通に変えていこう!便利にしていこう!ということ
で、設立したのがH・O・T Managersなのです!!
移動手段の充実化は、ただ単純に公共交通を残していくということだけでなく、地域活性化や弘前のまちをもっとよくしていくことにつながります。だからこそ、H・O・T Managersは学生が主体となって、弘前の公共交通を育てていくのです!

活動紹介①

情報誌「ほっと」



私たちの活動のメインとなっているのが、情報誌の作成です。

「よくわからない公共交通」から「わかる公共交通」にすることで、公共交通を楽しく、わかりやすく、便利に使ってもらいたいという想いをこめて、電車を使ったお出かけプランの提案のほか、乗り方や降り方などの基礎的なことも詳しく載せました。

2011年4月に試作版、11月にVol.1を発行しました。
地域の良さを知ってもらいたい、という想いをこめて、目的地の情報を付加することで公共交通の現実的な利用へとつなげました。バスのルートマップやお店の紹介を見開きで確認できるようにしたり、お店の人の顔を載せて親近感を持たせたりするなどの工夫をしています。



大学生のみならず、地元住民からもかなり好評で、新聞、テレビ、ラジオなども大きく取りあげて頂きました。

手に取った方々からは、「細部までこだわっていて素敵」、「今度はバスを利用してお店に行ってみたい」という声がありました。現在は、Vol.2の発行(2013年1月予定)に向けて奮闘中です。

活動紹介之

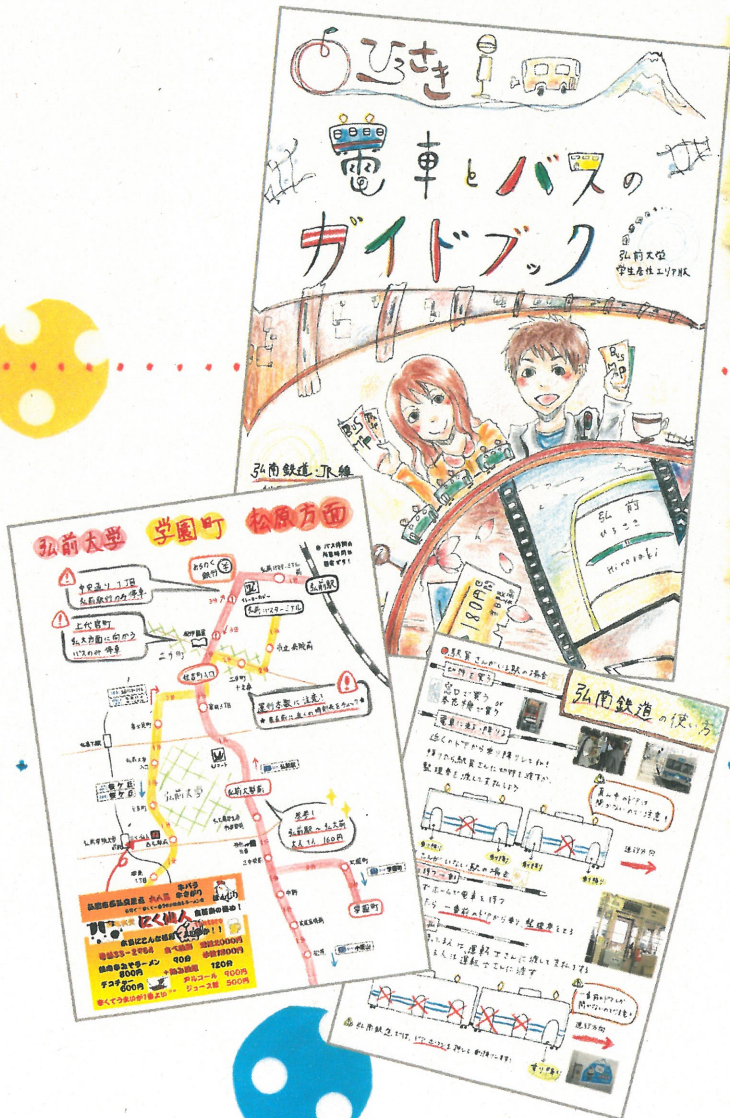
ガイドブック

弘前の電車やバスは、新しく弘前にやってきた人にとっては、わかりづらく、ハードルの高いものです。そこで、情報誌の派生版として、2012年3月、新入生向けに「**ひろさき**電車とバスのガイドブック」を発行しました。

電車・バスの利用方法や路線図に特化してつくりました。駅・バス停の名称や料金、利用する際に注意したい点等の情報を丁寧に記載し、利用時の不安軽減につながるように工夫しました。

絵や写真を効果的に使い、わかりやすさにとことんこだわりました。「手書き」が親しみやすいと好評でした。

発刊にあたっての費用はすべてを広告料で賄っています。地域とともに公共交通を育てることが実現した活動の1つです。



活動紹介 ③

2011年11月12~13日の2日間!!



第9回

全国バスマップサミット in 弘前

全国バスマップサミットとは？

市民の手によって、バスマップ作成のノウハウ・情報交換をはじめ、公共交通の未来を見据えた熱い議論が交わされる場として、2003年に岡山で開催されて以来、全国で毎年開催されています。



第9回は私たちが主催！

研究交流部門



「バスマップの面白さと地域づくり」をテーマとした講演や、「東日本大震災から考える公共交通の情報発信」をテーマにしたパネルディスカッション、全国各地の事例を集めたポスター発表など、多彩なプログラムによる濃密な議論が行われました。



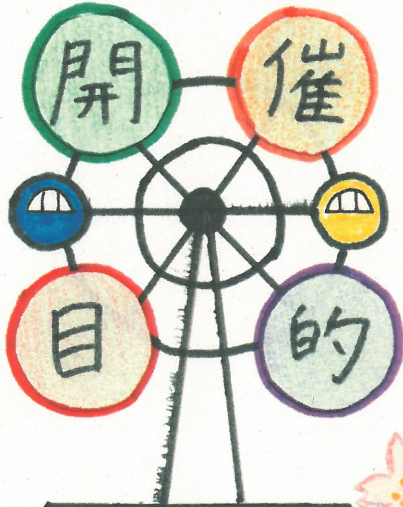
イベント部門

公共交通に親しみを持ってもらうきっかけづくりとして、イベントも同時開催しました。実車を用いた「バスの乗り方教室」のほか、地元商店街の協力による「バス弁(バスのお弁当)」の提供などを行い、盛況でした。



第10回は、2013年2月16・17日に札幌で開催！！

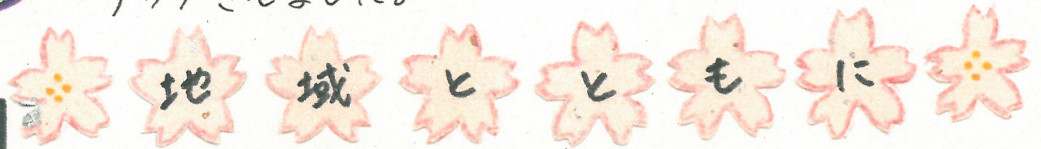
Hirosaki Bus & Train Festival 2012



開催日
2012年
10月20・21日

このイベントは、市民の皆さんに「より公共交通に親しめを持ってもらいたい」、「事業者と市民が触れ合う機会を創出した」という思いを込めて開催したものです。

前回のバスマップサミットin弘前においても、イベント部門が大変好評で、それを下地に、内容もパワーアップさせました。



イベントをより地域に根ざしたものにしたいという思いがあり、バス・鉄道事業者だけでなく、ポスター・チラシも地元のデザイナーに依頼するなど、地域との連携をはかりました。



来場者数
2日で
約4600人

**ゆるキャラ
マナー劇場**
ゆるキャラたちと一緒に交通マナーを学びました
人々に親しめのあるゆるキャラを通して交通に関心を持ってもらうという試みです

バス・電車のお絵かきコンテスト
子どもたちにバス・電車の絵を描いてもらい、後日、バス・電車の車内に掲示しました

バスの乗り方教室
実車を使って、バスの乗り方・降り方などを学びました

弘南鉄道車庫見学会
・車庫見学
・車内の清掃

その他
・高速バス試乗会
・バス展示&記念撮影
・鉄道グッズ販売
・鉄道模型運転会
・交通コンシェルジュ
・大鰐線沿線グルメ屋台

Hirosaki Bus & Train Festival 2012



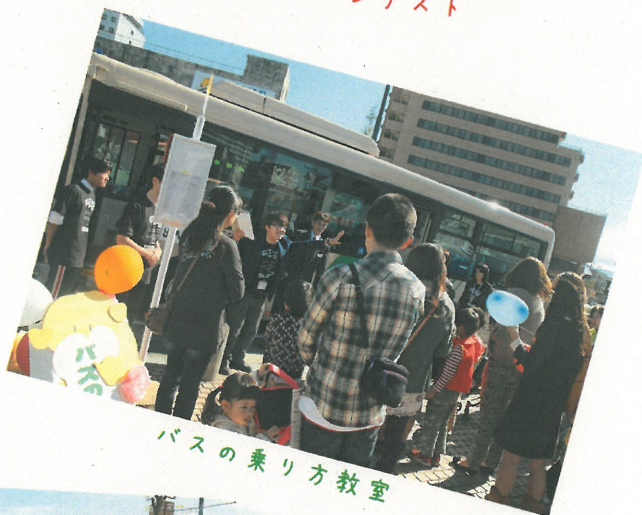
ゆるキャラ♪マナー劇場



バス・電車のお絵かきコンテスト



弘南鉄道車庫見学会 & 車両整備体験



バスの乗り方教室



鉄道模型運転会



グルメ屋台や鉄道グッズ販売



普段は出来ない運転士さんとの交流の時間



楽しい2日間でした

活動紹介

その他活動



街めぐりツアー

路線バスを使って、新入生を対象とした街めぐりツアーを実施しました。地元の商店や施設の方の協力を得て、弘前の良さとバスの使い方を知ってもらう機会づくりを行いました。（平成23, 24年実施）

JCOMMでの発表

日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）にて、平成23, 24年に2回発表を行っています。



イベントMAP製作

トランジットモールの実験に際して、中心市街地のイベント紹介やバスの迂回ルートと利用方法を掲載。（平成24年8月）



シンポジウムでの発表

「交通まちづくりシンポジウムin八戸」で、パネリストとして登壇。ポスター発表もしました。（平成24年11月29, 30日）



これからにおいて ★ ヒトコト

元々であれば、私の個人研究から始まったH・O・T Managers (以下HOT)も、2010年の設立から約2年が経過しました。

今年を振り返ると、HOTの地域における存在感を増やすことができた一方で、今後の持続的な活動を展開するうえでの課題も浮き彫りになってきました。その意味では、私たちの活動はまだまだこれからのように思えます。

私は来年度から大学院へ進学するので、今後も弘前、青森の交通を良くしていくために、いろいろな形で関わればと思っています。HOTの活動としても個人的には、小学校や幼稚園・保育園などで公共交通の大切さや利用方法をレクチャーする出前授業の実施、公共交通ガイドブックの継続的な発行、駅・バス停のサインや情報の充実化プロジェクトなど、今後やりたいと思っています。

ただ、今後の持続的な活動の展開のためには、世代交代が不可欠であり、次世代を担う後輩の育成が急務といえます。後輩とともに今後の活動の展開を話し合っていく中で、大学生が「交通」の問題に関わるということは何なのか、そのあるべき姿はどういうものなのかを、一緒に見つけ出せればと考えています。



大野悠貴 (代表: 人文学部4年)



新澤舞 (人文学部4年)

まずは、情報誌を完成させることに専念したいです。

私は今年度を以って卒業してしまうので、今後のサークルに期待することとしては、MM教育の分野に挑戦してほしいです。

これまでの活動を通して、子どもへのアプローチが大切だということに改めて実感しています。そういう意味で、イベントも継続させてほしいし、新たに学校に赴いての出前授業など、枠にとられない活動を展開させてほしいです。

個人的な目標としては、社会人になってからも、モビリティ・マネジメントやまちづくりに取り組みたいと思っています。

私は今年の4月にH・O・T Managersに入りました。

元々は、「弘前の色々なお店を知ることができるのかな〜?」と考えていて、正直なところ公共交通に関してはオマケのような感覚でいました。

しかし、このサークルならではの様々な活動を通して、公共交通の抱えているいろんな問題をなんとかしたい気持ちが生まれてきました。同時に、これまでサークルでやってきた情報誌やイベントが、公共交通の問題の改善にもっと効果が出せないのかと考えるようになりました。しかし、公共交通の問題についてはまだまだ勉強不足で、私自身が具体的にどうすればいいのか、まだよくわからないままです。

これからも、H・O・T Managersを通して、楽しみながら、また少しでも問題の改善につながるよう活動していきたいです。

そして、私自身が、さらにH・O・T Managersが、この先どのような活動をすれば公共交通の問題の改善につながるのか、もっと知りたいと思っています。



有馬佑紀 (人文学部2年)

今回はこのメンバーで作成しました。最後まで御覧頂き、ありがとうございました!